

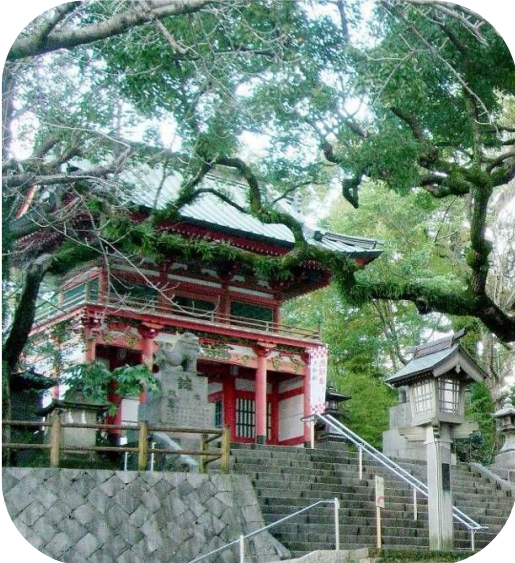
熊本駅起点コース

◎ 熊本城の外堀 白川歴史探索ウォーキングコース	約120分	熊本駅から中心街まで加藤清正公の偉業白川大改修・歴史を感じながら川沿いを歩きます。行程は3つに分けています。ゴールは体調に応じてお歩き下さい。
◎ 熊本駅周辺 「平安京を偲んで」歴史探索コース	約45分	熊本駅周辺には春日神社、清水寺など京の都にならった地名が多くあります。 “平安京(平安時代)に思いを馳せ、散歩、短時間コースです。
◎ 熊本駅から一番近い 「歴史と眺望の道」花岡山コース	約150分	平安時代～昭和にいたるまで歴史が詰った山「花岡山」、具体的に仏舎利塔、熊本市街展望、加藤清正公熊本城築城の苦労の跡などを回ります。
◎ 「城下の人」(熊本城炎上目撃者) 石光真清の地探索コース	約120分	西南戦争時に熊本城炎上を長六橋の上から目撃した石光真清、平成27年5月に石光真清旧居(生家)が修復されました。真清旧居をもとに関連史跡を回ります。
◎ 城下町を実感! 「横手」界隈探索コース	約120分	加藤清正公母堂の墓、北岡自然公園(妙解寺跡)などをめぐります。時間があれば熊本城築城時に石を運んだ急な坂「地獄坂」もどうぞ!

夫婦楠『良縁参り』で有名な「北岡神社」

加藤清正が大改修を行った一級河川「白川」

コースの起点、再開発が予定されている「熊本駅」



花岡山頂上「仏舎利塔」



[在来線] 上熊本・玉名方面↑
[新幹線] 新玉名・新大阪方面↑

KSY15-A [1/5]

歴史を感じてウォーキングしませんか
白川沿い歴史探索 【3/5】～【5/5】
歩きやすくコースを3つに分けています
(加藤清正公の白川大改修コースを歩く)
熊本駅(白川口)スタート

熊本市中心部

ウォーキング範囲

● 熊本城の外堀 白川歴史探索ウォーキングコース
(加藤清正公の白川大改修コースを歩く。全体図) [1/5]
● スタート熊本駅前～ゴール藤崎八幡宮(目安約120分)

- 記号説明
- ⊕ 病院
 - ⌌ 神社
 - (大) 文 大学
 - ⊙ 文 専・高・中・小
 - <ウォーキング中>
 - ★ 立寄り史跡・碑



熊本城の外堀 白川歴史探索ウォーキングコース
 (加藤清正公の白川大改修コースを歩く。全体細部) [2/5]
 ●スタート熊本駅前～ゴール藤崎八幡宮(目安約120分)

熊本駅から中心街まで加藤清正公の偉業白川大改修・歴史を感じながら白川沿いを歩いてみましょう！赤のNo.順に歩きます

長六橋
 慶長六年(1601年)に白川に架けられた最初の橋

泰平橋
 昭和35年に架けられた

白川橋
 昭和53年に架けられた

代継橋
 最初の橋は大正10年(1921年)に架けられた



明午橋
 明治3年に架けられた3番目の橋。夏目漱石は1896年、第五高等学校(現在の熊本大学)の教師として熊本に来た4年余りの間に6回転居しています。坪井旧居が一番気に入っていた様で現存していますが、明午橋近くにも住んでいました(第4旧居)
 ◆国土交通省熊本河川国道事務所により2014年10月～橋の撤去作業が行われています。現在、仮架橋で撤去後に新橋工事に入ります。

大甲橋
 市電も通る橋。大正13年(1924年、干支、甲子)に架けられた

ご注意!
 ○雨の日は河川敷の道は歩かない様に！河川敷の上の歩道を！
 ○トイレは途中ありません。熊本駅などですませてお歩き下さい。

熊本交通センター一带は2015年～2018年にかけて再開発されます。建物は取り壊され、バス停留所は暫定的に設置されます。ご注意ください



行程Ⅰ
 【3/5】を参照下さい

行程Ⅱ
 【4/5】を参照下さい
 【3/52】

行程Ⅲ
 【5/5】を参照下さい

＜記号説明＞	
⊗	階段
◎	坂道

熊本城の外堀 白川歴史探索ウォーキングコース 行程 I ●
 (加藤清正公の白川大改修コースを歩く。熊本駅から長六橋まで。目安約45分)
 ●スタート熊本駅前～ゴール藤崎八幡宮(目安約120分) [3/5]

②殿下石 (③の直ぐ側にあります)

1587年天下統一を進めていた豊臣秀吉は30万の軍勢を率いて島津平定に向かった。秀吉が南下すると九州各地の武将は次々に攻め落とされ、4月13日隈本城主城久基も降伏した。更に南進のため、隈本城で2泊した秀吉は4月18日隈庄(今の熊本市南区城南)へ出発したが、白川を渡る時にこの石に座して小休止したので、殿下石と呼ばれるようになったと伝えられています。

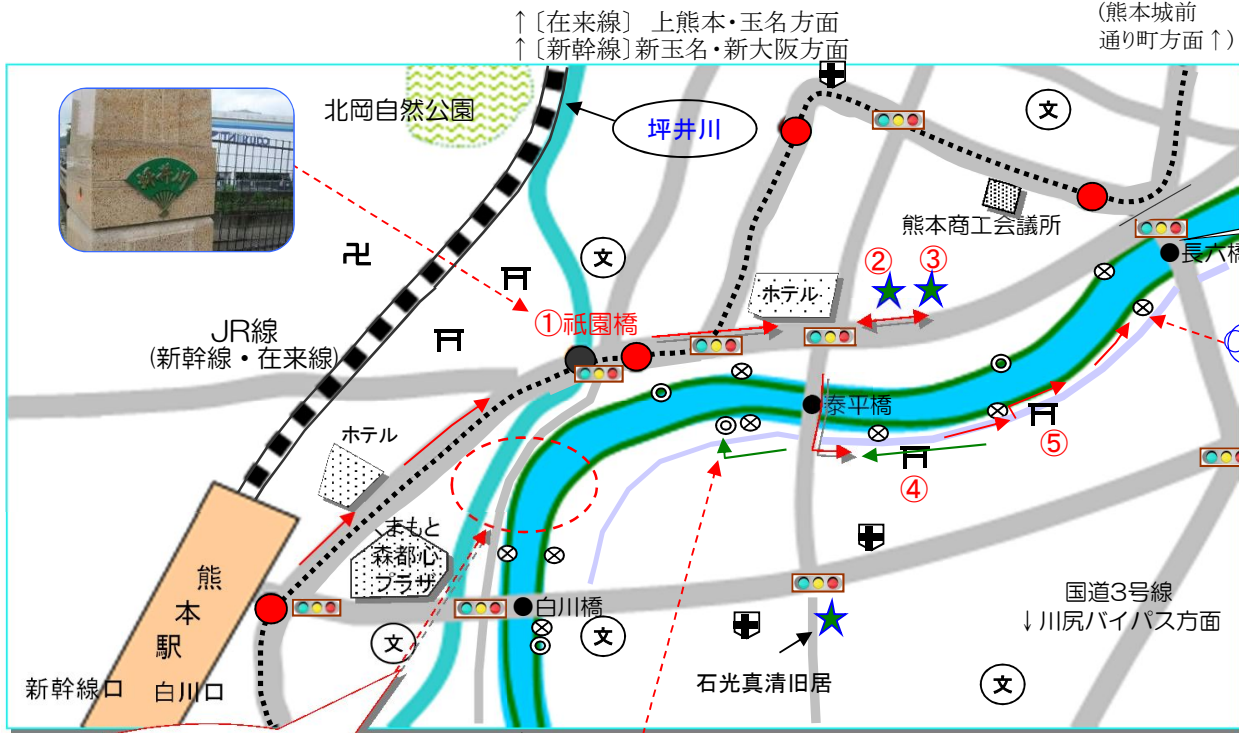


③放牛石仏・団子地蔵

現場の説明板に放牛僧侶の悲しい経緯や放牛石仏・団子地蔵を詳しく書いてあります。放牛石仏は1722(享保7)年から10年の間に100体余を造られました。この放牛地蔵は20体目です。堂の中の右に放牛石仏、左に団子地蔵が安置されています。



熊本市電
 (熊本城前
 通り町方面↑)



熊本城炎上
 西南の役、薩摩軍が来る2日前の明治10年(1877年)2月19日出火(原因不明)。天守閣とその一帯が全焼しました。「城下の人」の石光真清は父親と長六橋の上からみていたそうです。詳しくはなまなましく「城下の人」に書かれていますが、多くの民衆が涙を流したそうです。

⑤の見学が終わったら近くの階段をおりここから河川道路をお歩き下さい。しばらく河川道路を歩きます。



白川と坪井川は元々合流して流れていましたが、加藤清正公が白川と坪井川を分離した石塘跡です。

車イスの方は⑤の見学から戻りこの坂から河川道路におくだり下さい。

石光真清
 (1868-1942)
 「城下の人」の作者。西南の役で熊本城下を小説で詳しく書かれています。石光真清旧居は2015年5月末修復されました。

④本山神社
 約680年の古い歴史をもつ神社



⑤【放牛石仏】
 約290年の歴史をもつ石仏。放牛石仏は3体目、27体目が安置されています。

【阿蘇大明神社】
 安政年間、大出水の時、ご神体が阿蘇から流されてきました。現在地に祀られて100年以上がたっています。



- <記号説明>
- ⊗ 階段
 - ◎ 坂道

熊本城の外堀 白川歴史探索ウォーキングコース 行程Ⅱ ●
 (加藤清正公の白川大改修コースを歩く。長六橋から大甲橋まで。目安約45分)
 ●スタート熊本駅前～ゴール藤崎八幡宮(目安約120分) [4/5]

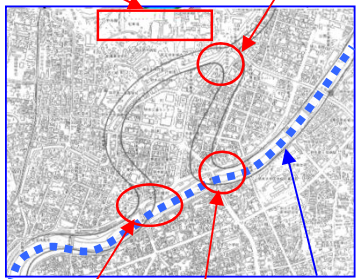
バードウォッチングに興味がある方は川面にはサギなどもいます。冬には渡り鳥も。



時間に制約等おありの方は代継橋を直進して下さい。市電「辛島町電停」「交通センター」に5分程度で着きます。

● 清正公大改修前の白川

熊本城 市役所付近



長六橋付近 代継橋付近

現在の白川

白川は大きく蛇行し、坪井川と合流し流れていました。

(出典)

「加藤清正-築城と治水」

(発行所: 富山房インターナショナル)



★加藤清正公が白川大改修をするまでは白川は大きく蛇行していました。代継橋付近から熊本城付近へ北上して流れ、その後南下し長六橋付近で現在の流れとなったとされています。

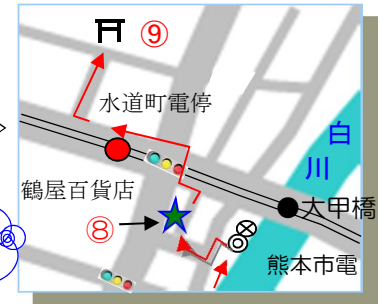
⑨手取天満宮

約350年の歴史。学問の神様・菅原道真公をお祀りしてあります。



拡大

細い路地を入ると直ぐ左が日限地蔵さんです。



⑧日限地蔵

約380年の歴史。個人所有のお地蔵さんが開放されています。

⑦厄除観音



Ⓑ 地点からみた対岸



⑥大井手 (白川放水口)

清正公が約3年をかけて構築した渡鹿堰からの農業用水路の出口。右岸から出口が見えます。



Ⓐ 地点からみた対岸

熊本大学医学部(附属病院)が見えます。

<記号説明>

- ⊗ 階段
- ◎ 坂道

熊本城の外堀 白川歴史探索ウォーキングコース 行程Ⅲ
 (加藤清正公の白川大改修コースを歩く大甲橋から藤崎八幡宮まで。目安約30分)
 ●スタート熊本駅前～ゴール藤崎八幡宮(目安約120分) [5/5]

⑬吉田司家跡

相撲の神様と言われた吉田司家です。第4代谷風(1789年)から第40代の横綱「東富士」(1949年)まで横綱の免許授与式が続きました。横綱免許制度を考案した吉田司家は現在、土地・建物とも売却されマンションが建っています。



⑫藤崎八幡宮

約1080年の古い歴史を持つ神社。正月は多くの初詣参拝があり。昔、熊本城内(今の藤崎台球場)にあったが、西南の役で焼失しました。その折、熊本鎮台用地となり、現在地に造営されました。



◎境内の北側には清少納言の父である清原元輔(986年、京都から肥後守として着任。熊本駅の近くに清原神社があり)の歌碑があります。藤崎宮が今の藤崎台球場にあった時に詠みました。

藤崎の軒の巖に生ふる松
いま幾千代の子の日過ぐさむ



←古い碑で裏面に明治30年12月と刻まれています。

⑬吉田司家跡を見た後

中心街へは2通りがあります。
 ・近くのバス停から交通センター行きに乗車
 ・上通りを歩いて通町筋まで行く
 (老舗の名産お菓子屋さん、ラーメン店もあります)



時間に制約等おありの方は手取天満宮から市電「水道町電停」は1分程度で着きます。

白川

⑩熊本平和祈念之碑

趣旨は碑に詳しく書かれていますが、熊本市も太平洋戦争の末期、昭和19年11月21日から数回の空襲を受けており甚大な被害を受けました。平和を祈念して1980年建立されました。毎年7月1日に慰霊祭が行われています。

⑪安田昌子の歌碑



黒し
髪ら
に川
への
水
を鏡
なりに
り生
てひ
もた
ちし
ま
さ
子

安田昌子

熊本の女流歌人。明治39年～昭和53年(72歳で没)。熊本女子師範卒(熊本大学教育学部的前身)。歌碑建設の趣旨は「轍」No.101 6月のP8～9に記載されていますが、生前の尽力に対しよく散歩されていた白川畔の鶴田公園の一隅に建設されました。(出典:「轍」No.101 6月)

熊本には多数の歌人・俳人が活躍され、歌碑・句碑があります。熊本市民のオアシス「江湖湖」をウォーキングされると関連の句碑が多く建てられています。市電「水前寺公園」または「市立体育館前」で下車。歩いて行きましょう!



● 熊本駅周辺「平安京を偲んで」歴史探索コース【1/2】

● スタート熊本駅(新幹線口)～ゴール熊本駅(白川口)(目安約45分)

①春日神社

約940年の古い歴史をもつ神社。
菊池氏初代藤原則隆創設。



②清水寺

天台宗比叡山延暦寺神護寺の末寺です。全国の清水寺は大同年間(806年頃)、坂上田村麻呂の祈願として全国60余国に一寺ずつ、山城国音羽山清水寺を移して建てられたと伝えられています。

清水寺は階段の上です。車イスの方は下からお参り下さい。

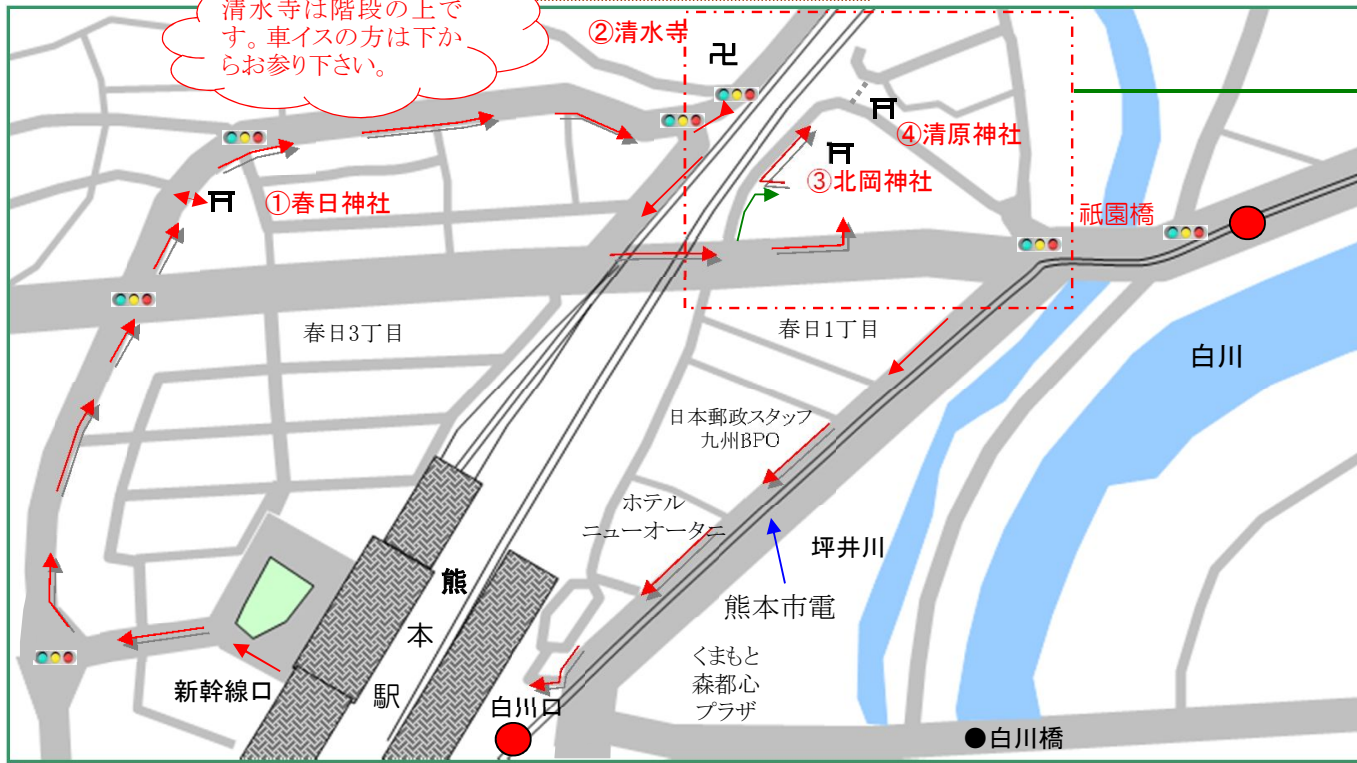
熊本駅の歴史

1891(明治24)年7月1日に春日駅として春日村に開業。当時このあたりは「春日ぼうぶら(カボチャ)畑、でへんびな処でした。何故、こんなところに?火力蒸気機関車は今では当たり前かつ懐かしささえ覚えますが、当時は火の力で動く機関車を恐れている人もいたようです。実際、日本では線路を引かなかった町もあり、熊本でも街中ではなくへんぴなところに設置したのはこの様な理由があったようです。1965(昭和40)年に電化が完了しました。2011(平成23)年3月、山陽新幹線に乗り入れた九州新幹線が開業しました。熊本としては東海道新幹線まで直結、「のぞみ」の乗り入れを望んでいた人が多かった様ですが…。博多乗換え不要となり、新大阪まで最速2時間59分で到着でき便利にはなりました。現在、周辺の高架事業が進められており数年後には、新駅舎が完成し「春日ぼうぶら(カボチャ)畑、から完全脱皮する日も間もないことでしょう。

明治の熊本市 鉄道唱歌(明治30年) 51番より

♪眠る間もなく熊本の町に着きたり我汽車は九州一の大都会人口五万四千あり♪

往時の繁栄が偲べれます。特に若い人達には熊本市固有の良さと歴史を継承して発展して行ってほしいものです。



拡大 【2/2】に示します。

熊本駅周辺は平安時代に肥後国府が置かれ、京の都にならった地名が多くつけられ往時を偲ぶことができます。

- 距離(参考値です)
- 熊本駅(新幹線口)～①春日神社……450m
 - ①春日神社～②清水寺……………400m
 - ②清水寺～③北岡神社……………350m
 - ③北岡神社～④清原神社……………150m
 - ④清原神社～熊本駅(白川口)……550m

熊本駅周辺「平安京を偲んで」歴史探索コース ● 【2/2】

●スタート熊本駅(新幹線口)~ゴール熊本駅(白川口)(目安約45分)

熊本市藤崎八幡宮境内の北側には元輔の歌碑があります。藤崎宮が今の藤崎台球場にあった時に詠んだものです。

藤崎の軒の巖に生ふる松
いま幾千代の子の日過ぐさむ



③北岡神社

約1080年の古い歴史をもつ神社。この一帯は京の都にならった地名が多く祇園神社とも尊称されています。

- ★厄除けの夫婦楠があります。
- ★西郷隆盛が西南の役で一時本陣を置きました。



- ★厄除けの夫婦楠。
手前(左)が雌楠、向側(右)が雄楠で男性、女性で廻り方が異なりますが、『良縁まいり』のお参りをされたら如何ですか。



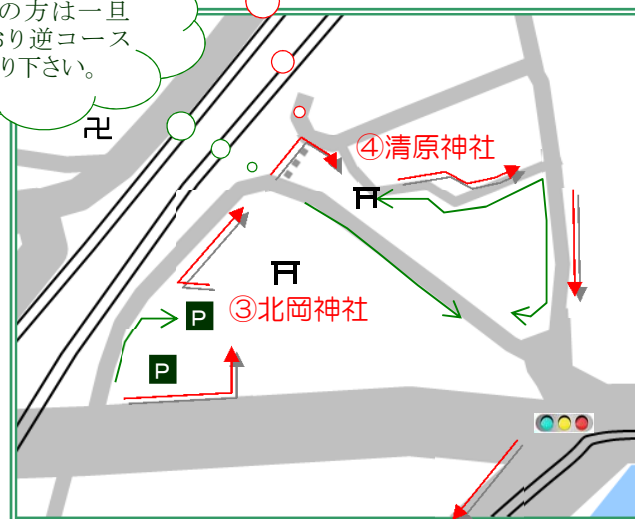
④清原神社

986年、京都から肥後守として着任した清原元輔を祀るこじんまりした神社があります。元輔は清少納言の父であり、着任4年後、熊本の地で83歳で亡くなりました。



北岡神社の裏側車道を曲がると民家の横に小さな階段があります。下りたら直ぐ右側です。

車イスの方は一旦坂をおり逆コースでお参り下さい。



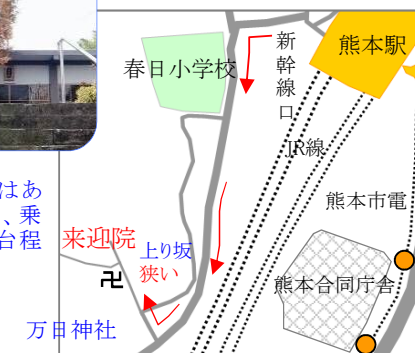
●活人形師「松本喜三郎」(1825-1891)の数少ない作品
を見に行きませんか

現在の熊本市中央区迎町に誕生した松本喜三郎は江戸末期から明治初期に活人形師として活躍しました。作品の多くが現存してなく、熊本駅近くの「来迎院」に【聖観世音菩薩像】が安置されています。
拝観料500円。TEL096-355-5917

熊本駅新幹線口から徒歩約10分。「春日小学校」前を通り(上り坂)、下り坂をおり、右側の「万日神社」方向へ狭い上り坂を歩くと左が「来迎院」です。



駐車場はありますが、乗用車数台程度です。



①仏舎利塔



③兜岩



④腰掛岩



⑤熊本バンド



⑥鐘掛松跡



●熊本駅から一番近い「歴史と眺望の道」花岡山コース [1/2]
●スタート熊本駅(新幹線口)~ゴール熊本駅(新幹線口)(目安Max約150分)

花岡山

熊本駅から一番近い山。標高132m。歴史を感じる山で祇園神社(現在の北岡神社)が979年に二本木から遷宮してから祇園山と呼ばれた。明治に入り、1869年に桜が植樹されたことから花岡山と呼ばれる様になった。戦国時代の阿蘇家の悲しい歴史、加藤清正の熊本城築城の名残、熊本バンドの奉教之碑、西南戦争の砲座跡や官軍墓地、等々、熊本の歴史を物語るものが数多くあります。眼下に熊本駅は勿論のこと熊本市街が一望できます。桜の季節は花見客も一杯です。例年3月末~4月初旬は見事な桜の名所になります。

熊本駅(新幹線口)から頂上まで所用時間(目安) 徒歩:約40分。車:約10分。



熊本駅(新幹線口)から探索の時間(目安)。
 ※頂上までタクシー(約10分)料金:片道約1,000円
 A:登りは車(タクシー)、下りは徒歩の方.....約90分。
 B:登りも下りも徒歩の方.....約150分。
 C:登りも下りも車(タクシー)の方.....約60分。
 ※この場合は市街地展望と頂上付近のみ史跡見物となります。
 ◆一般の方にはAをお勧めします。
 ◆車イス、足が弱い方はCをお勧めします。



②熊本市街展望 中心部方面←【眼下に熊本駅は勿論のこと熊本市街が一望できます】→熊本駅方面

⑬清水寺



⑫極楽坂



⑪阿蘇殿松跡



⑩花岡山招魂社



⑨加賀山マリア殉教の碑



⑧官軍墓地



⑦薩軍砲座の址



⑭北岡神社
約1080年の古い歴史をもつ神社。この一帯は京の都にならった地名が多く祇園神社とも尊称されています。

①仏舍利塔
インドのネール元首相から世界平和の祈願をこめて寄贈された御仏舍利(お釈迦様の骨)が納められています。

熊本駅から一番近い「歴史と眺望の道」花岡山コース ● [2/2]
●スタート熊本駅(新幹線口)～ゴール熊本駅(新幹線口)(目安Max約150分)

[在来線] 上熊本・玉名方面↑
[新幹線] 新玉名・新大阪方面↑

花岡山の史跡

794年
平安時代
1192年

⑫清水寺
⑬北岡神社

1192年
鎌倉時代
1333年

1336年
室町時代
(南北朝時代)
(戦国時代)
1573年

⑩阿蘇殿松跡
③兜岩・腰掛岩
⑤鐘掛松跡
⑧加賀山マリア殉教の碑

1573年
安土桃山時代
1603年

1603年
江戸時代
(幕末)
1867年

④熊本バンド
⑦官軍墓地
⑥薩軍砲座の址
⑨花岡山招魂社

1868年
明治時代
1912年

1912年
大正時代
1926年

①仏舍利塔

1926年
昭和時代
(占領下)
1989年

③兜岩 ④腰掛岩
加藤清正公が熊本城築城時に花岡山、隣の万日山から岩を切り出す時に、兜を脱いで岩に置き、陣頭指揮をとったことから兜岩と言われています。またそばに腰掛たことから腰掛岩もあります。

⑤熊本バンド
米国人教師ジェーンズの影響を受けた熊本洋学校の生徒が結成した基督教のグループで、明治9年、花岡山に集い、信仰を広めあおうと誓いあった。グループには徳富蘇峰(熊本市内、水俣市内に記念館がある)などが含まれています。昭和40年に碑が建立されました。

⑥鐘掛松跡
加藤清正公が熊本城築城時に花岡山、隣の万日山から岩を切り出す時に、作業の開始、休憩など合図をする為に鐘がかけられた松があったということです。

⑦薩軍砲座の址
1877(明治10)年2月22日から始った熊本城攻防戦の時、薩軍がお城攻撃の為に大砲を設置し、城へ向け砲撃した場所として知られています。砲弾は熊本城には届かず、手前に落下したと言われています。尚、52日続いた熊本城攻防戦にも、熊本城は落城せず、清正公が築城した日本三名城の熊本城が如何に実践的なお城であったかが証明されました。西郷率いる薩軍は諦め、北上し、「田原坂(熊本市北区植木町)の戦い」をすることになります。



⑬清水寺
天台宗比叡山延暦寺神護寺の末寺です。全国の清水寺は大同年間(806年頃)、坂上田村麻呂の祈願として全国60余国に一寺ずつ、山城国音羽山清水寺を移して建てられたと伝えられています。
●車イスの方は登れません。石段の下からお参り下さい。

⑫極楽坂(歩行専用)
緩やかな登り坂で「極楽坂」と呼ばれています。交差点に案内板がたっています。北岡自然公園方面は急勾配の「地獄坂」、熊本駅方面はゆるやかな坂で「極楽坂」と書いてあります。

⑩阿蘇殿松跡
阿蘇惟光は島津家臣の梅北国兼が起こした「梅北の乱」に結託したとあらぬ疑いをかけられ、秀吉から切腹を命じられ、僅か11歳でこの地で斬首された。このことを哀しみ1本の松が植えられたことからこの名が付きましました。今、松はありません。

⑩花岡山招魂社
小さな建物ですが、宮部鼎蔵を始め戊辰の役以降の150余柱の英霊を祭祀されています。

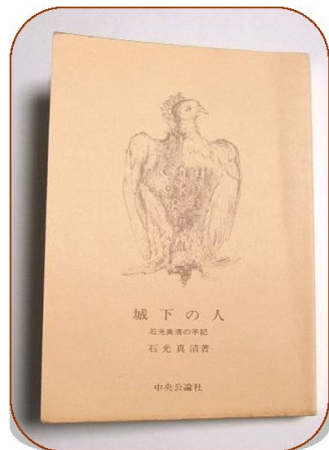
⑧官軍墓地
1876(明治9)年発生した「神風連の変」で倒れた官軍116名が埋葬されています。

⑨加賀山マリア殉教の碑
キリスト教信者でありながら細川の家老まで勤めたディエゴ加賀山。キリスト教弾圧の中、最後まで信仰を守り続け、小倉藩で斬首されました。マリアはディエゴの娘で、細川が肥後に移封された後、キリスト教の弾圧で花岡山の麓で殉教しました。

ご注意!
夏は暑いので日傘をさして歩かれることをお勧めします。

[在来線] 上熊本・玉名方面↑
[新幹線] 新玉名・新大阪方面↑

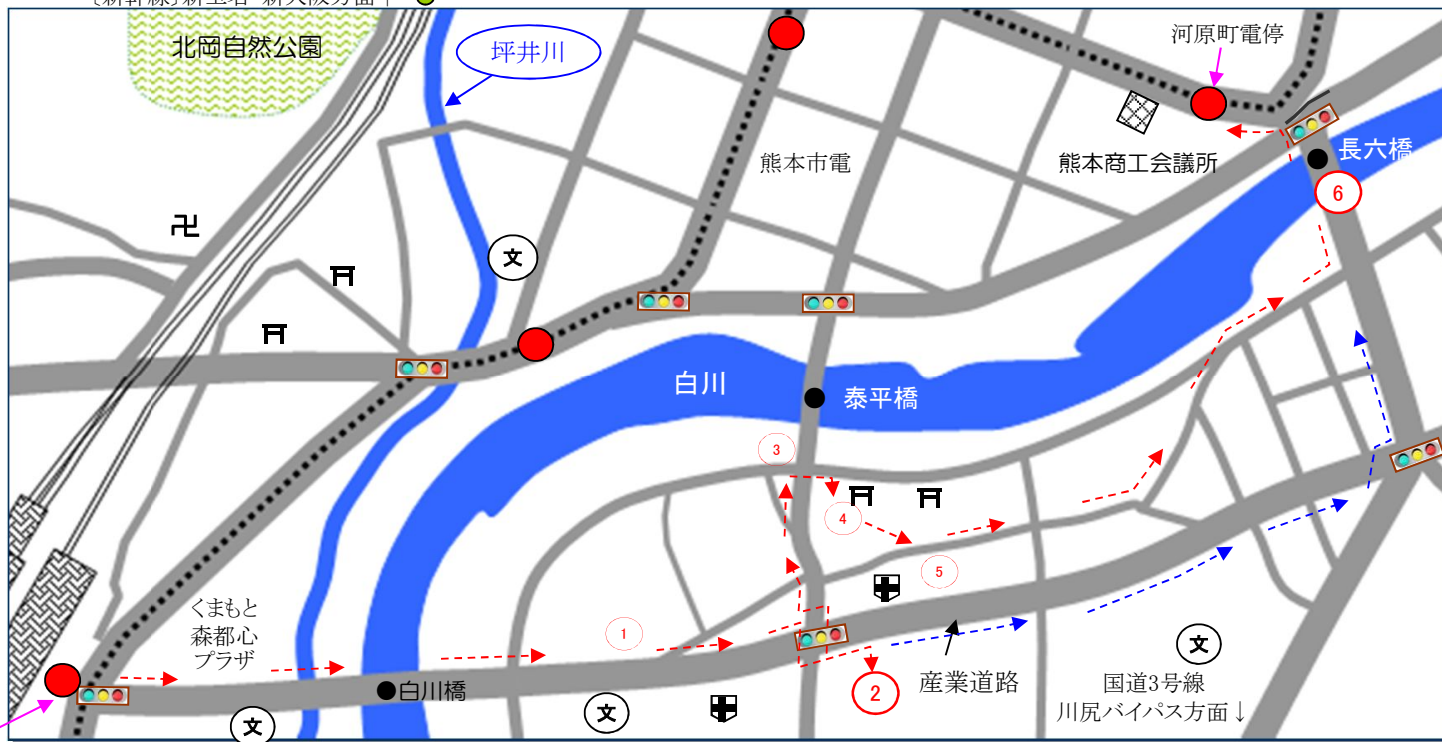
●「城下の人」(作者。熊本城炎上目撃者)石光真清の地探索コース
●スタート熊本駅(白川口)～ゴール熊本駅(白川口)(目安Max約120分) [1/2]



熊本駅前電停

城下の人
著者 石光真清
(発行中央公論社)

※「西南戦争」(明治10年2月)西郷率いる薩軍総攻撃の3日前、2月19日に熊本城から出火。小説の中で、少年だった真清は父と一緒に長六橋の上から見た炎上の様子を生々しく書いています。



産業道路について 歴史のある道路です。
太平洋戦争前、熊本市の市街地がまだ狭い時、現在の中心部辛島町にあった大日本帝国陸軍第六師団の山崎練兵場を熊本市大江に移転した際、整備された道路です。現在、東バイパスとの交差点までを呼称しており、その先は国体通りと呼称されています。
※辛島町は第3代の辛島格熊本市長(1897-1913年の3期16年務める)が市街発展を阻害していた練兵場を当時の郊外に移転させた大事業を成し遂げた業績を称え記念に名づけられた。辛島町、新市街辛島公園は彼の偉業の記念名であります。中心部の辛島公園内に「顕彰碑」があります。強大な軍部を相手にした粘り強い交渉の結果が今の辛島町周辺の繁栄に繋がっています。

「西南戦争」熊本城炎上の目撃者・著者でもある生き証人「石光真清」書籍「城下の人」に登場のゆかりの地を探索してみませんか?
●①③④は碑や案内板がある訳ではありません。番号付近が史跡の跡です。他県からおいでの方にはわかりづらいと思います。ご了承下さい。

熊本駅(白川口)から探訪の時間(徒歩の目安。見学時間を含みます)
A: 熊本駅(白川口)スタート、②⑥のみ見学、河原町電停ゴールの方……約60分。
B: 熊本駅(白川口)スタート、河原町電停ゴールの方……約70分。
C: 熊本駅(白川口)往復の方……約120分。

- 時間に制限のある方、少しお疲れの方にはAコースをお勧めします。河原町電停から熊本駅まで市電で約5分です。
- 駐車場はありません。

①太田黒惟信旧居跡

●碑や案内板がある訳ではありません。この付近です。

1876(明治)9年10月24日に維新の改革に反発し熊本鎮台を攻めた旧士族の反乱「神風連の変」が発生した。この乱で改革断行した元県民会議議長だった太田黒惟信の家は火災となり、その様子が書かれています。

●熊本駅から白川橋を渡るとバスの営業所があり、隣の空地付近です。

②石光真清 (生家)

真清が誕生から上京する1883(明治15)年の少年期まで過ごしたところです。生家は平成9年に空家となり、老朽化のため解体・撤去の話もありましたが地元本山地区の人達の熱意により、石光真清顕彰会によって管理公開されてきました。近くの故前川千鶴子さんがご自分の所有地と等価交換され、平成24年に熊本市に寄贈されました。平成27年3月に修復工事が熊本市によって実施されました。

●外観は常時見学出来ませんが、家に施錠されており、中には入れません。中を見学したい方は委託の業者であるホームセキュリティー熊本(電話096-322-2000)に電話下さい。鍵を開けられます。駐車場はありません。[主幹部署:熊本市文化振興課(電話096-328-2039)]

●道路に案内板がある訳ではありません。交差点近くの細い路地に入ったところです。



●平成27年5月に保存復元されました。遺品などの展示は今後の計画です。



「城下の人」(作者。熊本城炎上目撃者)石光真清の地探索コース●

●スタート熊本駅(白川口)~ゴール熊本駅(白川口)(目安Max約120分) [2/2]



- 熊本城内には「神風連の変」関係の碑が多数、建立されています。
- 「神風連資料館」が熊本大学(黒髪キャンパス)の近くにありますが。



★本山神社
約680年の古い歴史をもつ神社



③浄勝寺跡 (常勝寺)

●碑や案内板がある訳ではありません。この付近。西南戦争のとき戦死した薩摩士族はお寺の蘇鉄の側に埋葬されました。昭和34年に遺骨は遺族により鹿児島島に改葬されました。

●泰平橋へのわき道を行き、階段を登ると河川道路があります。下の河川敷辺りです。

●お寺は現在、熊本市中央区本荘町に移転されています。400年以上の歴史があります。

●書籍の中では、常勝寺と書かれていますが、浄勝寺が正です。



④横井小楠遺族旧宅

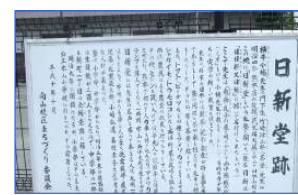
●碑や案内板がある訳ではありません。この付近。

小説の中で、本山神社(妙見社)の前でパンの製造販売をした。また当時、パンは珍しい時代で買う人もなく廃業されたと書かれています。



⑤日新堂跡

実学党の竹崎律次郎が建て、1871(明治4)年~1876(明治9)年8月まで続きました。女学生も在籍し女子教育の先駆を果たした。学んだ人には北里柴三郎・金森道倫・徳富蘇峰・徳富蘆花・石光真澄(真清の兄)などがいます。



石光真清について

熊本市中央区本山生まれ(当時は本山村)。1868(明治元)年~1942(昭和17)年、74歳で没。上京する1883(明治15)年の少年期まで熊本で過ごしました。陸軍幼年学校で学び、日清戦争(1894年~1895年)は陸軍中尉として台湾に遠征。1899(明治32)年、諜報活動という任務をうけシベリアに渡った。日露戦争(1904年~1905年)、ロシア革命(1917年)、シベリア出兵(1918年)の激動の中、諜報活動を続けた。「城下の人」は死後、手記を基に遺族(子の真人)がまとめたものです。他に「曠野の花」「望郷の歌」「誰がために」がある。石光真清は四男として生まれ、兄の真澄は現在のサッポロビール創業時の幹部、妹の真津子は橋本家に嫁ぎ、その孫が総理大臣になった橋本龍太郎と元高知県知事の大二郎です。

“祖国のために一身を捧げた孤高の肥後人” (熊本市役所HPより)

⑥長六橋

白川に架けられた最初の橋。加藤清正公が慶長六年(1601年)に熊本城築城の際、石材など運搬の為、木造の橋が造られました。この橋を分岐点に南を薩摩街道、東が日向街道と呼ばれていました。小説の中で、少年だった真清は父と一緒に長六橋の上から見た熊本城炎上の様子を生々しく書いています。

※尚、現在、国道3号線になっています。熊本には、かつて、四つの街道(肥後四街道)が通っていました。北(北九州・小倉)へ向う豊前街道、北東(大分・鶴崎)へ向う豊後街道、南東(宮崎・延岡)へ向う日向街道(往還)、南(鹿児島)へ向う薩摩街道です。

←案内板が駐車場のフェンスに掲示されています。あまり大きくないので見落とさないようご注意ください。

◎熊本駅(新幹線口)からスタート

◆一般の方 目安Max約120分

階段、坂道があります。

①→②→④→③→⑤をお薦めします。

ゴール 熊本駅(新幹線口)

熊本駅(新幹線口)

新幹線口から高架の線路沿いに上り方向を歩くと左に清水寺の階段が見えます。階段を見ながら更に線路際の下り坂を歩くと、左側に歩行者専用の極楽坂入口があります。

徒歩
約5分

入口を表示した
看板はありません

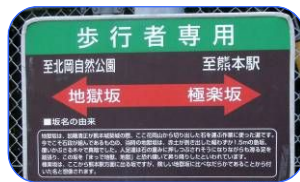


①極楽坂(歩行者専用)

②の急勾配「地獄坂」に対して、緩やかな登り坂で「極楽坂」と呼ばれています。登って行くと交差点に案内板があり、北岡自然公園方面は急勾配の「地獄坂」、熊本駅方面は緩やかな坂で「極楽坂」と書かれています。



徒歩
約4分



②地獄坂(歩行者専用)

熊本城築城時に花岡山から石を運んだ急な坂で、幅も狭く地獄と呼ばれたそうです。現在は階段となり整備されましたが、急であることには変わりはありません。階段を下りたら上を仰ぎ見、往時の人々が人力で上から下へ石を運んだ様子を想像してみてください。



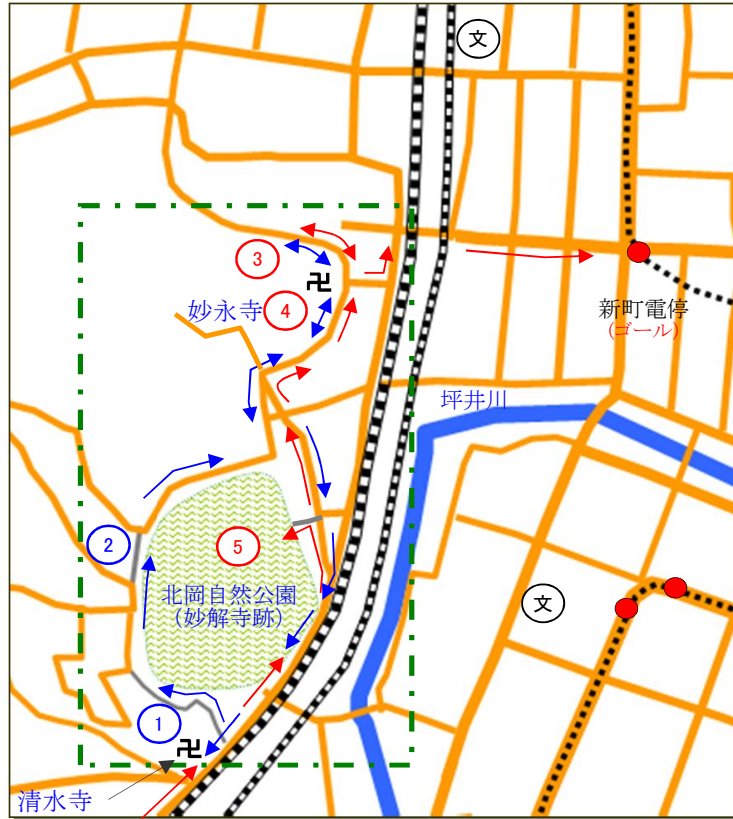
下から見た地獄坂

●城下町を実感! 「横手」界隈探索コース【1/2】

●スタート熊本駅(新幹線口)~ゴール市電(新町)or(熊本駅) (目安Max約120分)

[在来線] 上熊本・玉名方面↑
[新幹線] 新玉名・新大阪方面↑

熊本市電
(↑上熊本駅方面)



熊本駅↓
(スタート・ゴール)

熊本市電
(↓熊本駅前方面)

拡大図【2/2】を参照ください。

④→③→⑤見学後、⑤の「北岡自然公園」から約9分でゴールの熊本駅(新幹線口)に到着します。

◆車イス、足が弱い方、時間に制限ある方

目安Max約90分

⑤→④→③をお薦めします。

ゴール 熊本市電(新町電停)

熊本駅(新幹線口)

新幹線口から高架の線路沿いに上り方向を歩くと左に清水寺の階段が見えます。階段を見ながら更に線路際を歩くと、左側に「北岡自然公園」入口があります。

徒歩
約9分

⑤北岡自然公園(妙解寺跡)

拡大図【2/2】を参照ください。

④→③見学後、④の「加藤清正公母堂の墓」妙永寺から約7分でゴールの「新町電停」に到着します。



熊本駅
(新幹線口)

熊本市電
(新町電停)

城下町を実感！「横手」界隈探索コース ● 【2/2】
 ●スタート熊本駅(新幹線口)～ゴール市電(新町)or(熊本駅) (目安Max約 120分)

⑤北岡自然公園 (妙解寺跡)

細川家の菩提寺である妙解寺跡です。肥後の細川家初代忠利藩主と以後の歴代何人かの藩主の墓もあります。現在、熊本市に寄附され、北岡自然公園として整備されています。森鷗外の「阿部一族」の主人公の阿部弥一右衛門の墓もあります。
 料金：高校生以上200円。中学生以下100円
 電話：096-356-8005
 休園日：年末年始



←北岡自然公園入口には300年以上経た橋があります。下を流れている川は橋の幅に比べ、非常に狭く、井芹川が改修される前の川幅が想像できます。↓



●細川家の墓所は熊本市内に2ヶ所あり、もう一箇所は「立田自然公園(泰勝寺跡)」です。寺は明治2年の神仏分離により廃寺となりました。



③「横手鐘ヶ淵」跡

④を見た後、左方向の小さな川(井芹川)沿いに約50mほど歩くと川の向こうに説明板が建っています。
 熊本城が出来る前の隈本城時代、井芹川の川幅は改修前はまだ広く、説明板あたりに「鐘ヶ淵」と呼ばれる大きな淵があったそうです。下流から城下への物資の荷揚場として利用されていました。江戸時代、この一帯の雨乞いは鐘をこの淵に沈める肥後一番の作りもん行列だったようです。この模様は「五高記念館」(現在の熊本大学黒髪キャンパス)に賑やかな絵が保存されています。(一般には公開されていません)



徒歩約3分

④「加藤清正公母堂の墓」妙永寺

妙永寺は加藤清正公が亡母の三回忌に建てた寺です。亡母伊都子は1600(慶長5年)に亡くなりました。お寺は当時、常光寺といわれていました。お墓は本堂の右手にあり、お墓の前に小堂が建っています。



ゴール

○熊本市電(新町電停)～妙永寺からA方向へ歩き約7分

徒歩約6分

○熊本駅(新幹線口)～北岡自然公園(入口)からJR線沿いに歩いて約9分